

# 放課後デイサービス 所属職員の事業所評価の集計結果 (公表)

公表: 令和 6年 3月

アンケート期間: 令和6年2月1日～令和6年2月16日

事業所名 ほっとルーム槻木

職員数数 4名 回収数 4名 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1		利用定員が活動できるスペースを確保できているが建物が古いため、不便は多少ある。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	1		支援の質を上げるためにも1名、職員の確保が必要。 →4月より新しい職員が入ります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		1	3	対象児童がいない
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4			職員間で支援の目標に対する振り返りを行い業務改善に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			毎年アンケート調査を行い、保護者様の意向を踏まえ改善に取り組むよう務めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1		令和6年3月公表。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	3	事業所内だけではなく、外部評価による改善も必要に感じる。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			社内研修は行っているが、外部研修への参加を今よりも多く行っていきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			保護者様のニーズや児童の発達状況及び目標を職員間で周知し計画を作成している
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、適宜職員間で情報交換し、支援に繋がっているか	4			その都度職員間で共有し支援を行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			支援計画に基づいてプログラムを作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1		季節のイベント、社内の他の事業所との交流を取り入れる等、活動を工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	1		一人一人の発達に合わせ課題設定している。
適切	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			一人一人の発達を踏まえて個別活動及び集団活動を計画している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			活動前にミーティングを行い、前日の申し送りと当日の支援について話し合っている。

な 支 援 の 提 供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			支援終了後に簡単な振り返りを行いその日に共有出来なかったことは、次の日の活動前に共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			ケース記録の他に児童の様子は細かく記録している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			半年に1回、モニタリングを行い計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4			職員全体に周知し支援を行っている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 と連絡を密にして、利用者が適切な利用 ができるようにしているか	4			定期的に相談事業所と連絡を図り情報共有している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整 （送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適 切に行っているか	4			学校やご家庭を通じて、必要な情報共有を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる 場合は、子どもの主治医等と連絡体制を 整えているか			4	対象児童がいない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等 の間で情報共有と相互理解に努めている か	3		1	就相談事業所を通して情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ移 行する場合、それまでの支援内容等の情 報を提供する等しているか	4			就労先へ情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や 研修を受けているか	4			行政機関と1回/月での話し合いがある。 こども病院の研修を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会があ るか			4	ご家庭や児童のニーズに応じて交流を検討していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参 加しているか			4	機会があれば参加を検討していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っているか	4			日頃からご家庭と共通理解を図りながら支援を行えるよう 務めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してのペアレント・トレー ニング等の支援を行っているか	2	2		ペアレントトレーニングプログラムの実施は行っていないが新緑 を高めていくためにも必要なことと感じている。
保 護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等 について丁寧な説明を行っているか	4			契約時に必要な説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っているか	4			その都度行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会 等を開催する等により、保護者同士の連 携を支援しているか	4			年に1回保護者会を開催したが今後は 年2回行えるようにしたい。

者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			苦情があった際は職員全体で改善に向けた対応策を検討し迅速な対応に努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			毎月活動予定及び活動報告を作成し、行事予定や活動の様子を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	4			十分に注意し管理を行っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			送迎時や連絡帳等でご家庭へ情報伝達を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4			地域住民を招待し芋煮会を行った。来年度は、夏祭りを検討中。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1		作成はしているが周知方法を今後考えていく必要がある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			年に2回避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			年1回 虐待防止研修を行い、支援の見直しを行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			契約時に身体拘束に関する説明を行い、やむを得ず身体拘束を行う場合の同意を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			4	対象児童がいない。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			ヒヤリハットの事例を職員間で共有及び記録し再発防止に努めている。	